

酒類ガイドライン遵守推進本部だより



平成 26 年 6 月 16 日  
全国卸売酒販組合中央会  
酒類ガイドライン遵守推進本部

### 「酒の十徳」

委員 濱岡 弘道

近年、全世界で異常気象が頻繁に起こっています。猛暑が続くかと思えば極寒の日の連続もあります。大雪・大雨・干魃・台風・竜巻・大洪水・地震・津波と自然の猛威の前に人類は為す術がありません。

では、何故この様な事態に至ったのか！！

原因は積年の人類による文明・文化の発展と云う、果てしない欲望の追求の報いと云うか、奢りに対する警鐘ではないでしょうか。今更に自然との共存共栄を大事にしなくてはと思います。

さて、我々酒類販売業者は“お酒”と云う人にとって大変貴重な商品を取り扱っています。お酒は、善にもなれば悪にもなる品物です。99歳になる母親が「酒屋は良い商売だ、良い商売だ」と今でも云っています。我が社では、母が書いた“酒の十徳”と云う言葉を額に入れて飾っております。

5年前の「ほろにが第119号」で紹介しましたが、再度載させていただきます。

我	社	酒	を	誇	り	に	す	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	酒
社	愛	酒	を	り	に	す		人	縁	人	毒	病	気	う	憂	勞	礼	酒
酒	酒	を	不	愧	天	以		寿	を	と	を	を	を	つ	を	を	を	の
を	不	愧	天	以				を	結	親	解	避	め	を	忘	い	正	十
誇	売	愧	延	び	し			延	び	し	し	け	ぐ	ひ	れ	や	し	徳
り	る	天	以	ぶ				み					ら	ら	し			
に	を	以	て										し	き				

酒の十徳は“善”とするものです。

それに対し“悪”とは青少年への悪影響、アルコール障害、飲酒運転による交通事故等の社会不安です。

現在は規制緩和により異業種からの参入が多数あり、お酒の大半はそこで売られています。安く、安くをモットーに。ですからお酒では利益を出してはいません。お酒は囲商品と云う観念で売られているのが現状です。

ある大手卸の幹部は、お酒のみでは利益が出ないから取引が無くてもよい。ただ食品全体の事を考えて商売している、お酒が特別な商品と云う観念が無いのが情けないと嘆いておられました。明るい話題は、中央会でのある会議の際に、当局の担当官がメーカーの「適正生産」に言及された事です。

少子高齢化で消費量は毎年確実に減ります。今こそ「量より質」です。供給が需要より増えると必ず無謀な競争が起きます。いや、起きています。

時代の奔流に流されそうな我々酒販業者は、お酒に対して何とか責任と自信と誇りを持って堂々として行きたいものです。

## ○ 平成 26 年 5 月ビール類の出荷状況

(単位 : kl・%)

期間 区分	5 月			1 ~ 5 月		
	当月数量	前年数量	前年比	本年数量	前年数量	前年比
ビール	218,402	224,145	97.4	965,684	952,313	101.4
発泡酒	59,433	66,307	89.6	273,675	286,798	95.4
新ジャンル	185,685	176,865	105.0	764,465	761,595	100.4
計	463,520	467,317	99.2	2,003,824	2,000,706	100.2